



はじめに

新年度が始まりました。皆様方のご支援を頂きしらかば子どもの家・ベビーホームもとうとう10年目を迎えることができました。

新型コロナウイルスの影響は当施設にも及んでいますが、子どもたちをはじめ職員が大きな病気に掛かる事はなく日々を健やかに過ごすことが出来ました。6月からは学校等も徐々に始まり、子どもたちも外出できるようになることに喜んでいます。

また、施設として社会へと巣立った卒園生の健全な成長を祈っています。

ベビーホームでも、新型コロナウィルス感染防止のため、子どもたちは近場の散歩だけで、“ステイホーム”を守っています。梅雨の季節の雨上がりには、水たまり遊びをしたり、カタツムリを探したり、コロナに負けないように、楽しく過ごしていきたいと思います♪自由にどこへでも出かけられる日が早く来ることを期待しながら、『手洗い・うがい』子どもたちも、がんばっています！！

卒園・入学お祝い会

卒園・入学お祝い会は、例年ですと来賓20数人のほか職員、在籍児童も参加して盛大にお祝いし、式典の終了後は来賓、職員、在籍児童が一堂に会して立食パーティーで楽しいひと時を過ごしていましたが、今年は新型コロナウイルスの影響により、来賓、職員の数も少数に絞り在籍児童も代表1名に規模を縮小して実施しました。また、式典後の立食パーティーは中止しました。

来賓の数は少ないですが、子どもたちは、皆様方からあたたかい応援を頂き緊張の中にも嬉しそうな笑顔を見せていました。

今年の卒園生は1名です。既に就職先の社宅アパートに引越していましたが、会に出席するため、前日の夜に横浜の社宅アパートを出て施設まで歩いて来たそうです。

現在、新型コロナウイルスの影響で社会が大変な時期にありますが就職先でがんばっているようです。がんばれ！k君！



新入学入園は高校入学2名、中学校入学3名、小学校入学3名、幼稚園入園1名で、新しい制服に身を包み少し緊張しています。



今年、唯一の卒園生K君
スーツにネクタイ姿でいつも
より大人っぽく見えます。



**益子後援会長より記念品を
いただきました。**



来年はもっと盛大にお祝いできることを祈っています。



寮での記念撮影では自然体な姿で写真に写ることが出来ています。

たより「あしたば」

第13号発行
しらかば子どもの家
しらかばベビーホーム

しらかば子どもの家
しらかばベビーホーム
後援会

し	0	横	〒
ら	4	須	2
か	6	賀	3
ば	8	市	9
ベ	7	長	0
ビ	4	瀬	8
ー	5		2
ホ	9		6
ム	0		
	0		
	1		



しらかば 日記

久里浜小学校卒業式



校庭で友人との記念撮影



卒業式の日には緊張した顔を見せることが多い中で友達と一緒にいる時には素敵な笑顔を見せてくれます。



ベビーホームのお子ビちゃんたちが、子どもの家のお兄さん、お姉さんがお勉強で、ホットドッグ屋さんを開いているところに、お邪魔して一緒に遊んでもらいました！マシュマロを焼いて食べたり、的当てをして楽しそうでした！大満足！！



美味しそうな食事に夢中でカメラに気づいていません。

食事中も笑顔が絶えずに写真を撮る時にはとびっきりの笑顔を見せてくれます。



にぎりー丁

毎年新入生がいる年には、にぎりー丁様から直接店舗への招待を頂いております。

招待を受けた子供たちは美味しかった、楽しかった、と珍しい外食の機会に施設に戻ってからも興奮した様子で過ごしています。中には羨ましがるともたちがいいますが、自分が新入生になるときにも、食べに行けると信じて早く大きくなりたいと毎日過ごしています。



ボン



マシュマロ 焼けたかな？

小・中学校の入学式
久里浜幼稚園入園式

入学式や卒業式では何気ない仕草から子供の成長を実感します。成長の速さは子どもによって異なりますが、ふとした時に成長した一面を見せてくれるのはどの子も変わりありません。それぞれのペースで成長している子ども達の成長を間近で見ると、この仕事にやりがいを感じてその度に元気をもらいます。

玄関では緊張する様子もなく堂々とポーズを決めて素敵です。

早く学校へ行きたくて登校中に走ってしまうことも

入学式の朝には緊張していつもより固くなっている様子が見えます。



登校中に時間があつたので桜の前で記念撮影





しらかば 日記



みんなで掘り掘り楽しいな♪



思わず「あ〜ん」



どこにあるかな〜

みんなでジャガイモ掘りに行きました。

すぐに慣れた子ども達は次から次へとジャガイモを収穫し、気付けばみんな土まみれ♪

小さなジャガイモは「ジャガイモの赤ちゃん！」と嬉しそうに見せてくれ、大事に持ち帰っていました。

ほかほかとお天気も良く、汗ばむくらいジャガイモ掘りを楽しんだ子ども達。

いつもよりぐっすりお昼寝をしていました。

お誕生日会

ろうそくの火を消す時が一番
ワクワクします

誕生日にはみんなからお祝いもしてもらって本人にとって特別な一日になります。

しらかばではケーキ屋さんに注文をして自分の好みのホールケーキを作ってもらっています。

ケーキには蠟燭を灯しみんなからお祝いの歌を歌ってもらって成長して少し大人になった子どもたちでもやはりうれしいのか、満面の笑みを見せてくれます。



おたんじょうび
おめでとう!



素敵なお祝い
で記念撮影

こんなことしてあそんだよ!

クッキー作り



一人ひとり椅子に座って、栄養士さんの話を聞いてから、クッキングスタート!

お兄さんは卵割りに挑戦しました。

みんなで「おいしくな〜れ」とお願いしながら、順番に生地を混ぜます。

チョコチップやカラフルなトッピングがたくさんあり、迷ってしまいますが、それぞれ好きなように飾りました。

そして自分だけのクッキーが完成!

みんなでおやつ時間に食べました!

おいしく出来たかな?

♪ 手作りおもちゃ ♪

段ボールをつなげて大きなすべり台を作りました! 「すべり台」と言っても子どもたちがすべれる「すべり台」ではありません。

カラーボールやミニカーやトミカなど玩具専用のすべり台です。

箱に入ったカラーボールをすべり台の上からゴロゴロゴロ〜♪ たくさん転がって来るボールに「わあー!」と歓声を上げながら走り寄ってきます。すべり台の上から車を走らせると「ビュン!」と物凄い速さで走り下りる車にビックリ! 「まてまて!」とあわてて追いかけて行きます。子どもたちは、時間が過ぎるのを忘れてずーっと遊んでいます♡

くるま走るよ〜♪

見ててね♡



すべり台



しらかば子どもの家・しらかばベビーホーム後援会

益子 健一 後援会長挨拶

新型コロナウイルスによる感染が広がるなか、予防の観点から、今年の総会は書面総会という形をとらせて頂きました。

日ごろは当後援会に対し、深いご理解とご協力を賜りまして心から御礼申し上げます。

書面総会の結果は別紙のとおりですが、ご承認を頂きまして誠にありがとうございます。その中で、幅広く貴重なご意見も頂戴でき、これらは今後の運営に生かしていきたいと考えております。

本年は園も後援会も節目の設立10年目の年ですが、新型コロナウイルスの感染防止で学校は休校となり、入園している子どもたちは大変窮屈な生活を強いられております。またこの子どもたちに寄り添って下さる職員の方々のご苦労は例年にも増して並々ならぬものがあり、心から感謝を申し上げる次第です。

一方、卒園した県立大2年生のことも心配になり、過日濱田理事長、仲嶋施設長とともに現況を伺う機会を持ちました。彼女の話では、生活の一部ともなっているアルバイト先が二つとも無くなってしまったということで、役員のご意見もお聞きし、早速当面の分として10万円の支援を行いました。

これからも、今までにない局面が予想されると思いますが、園とも連携を密にしながら、あしたば基金を柔軟に有効活用させていただきたいと存じます。

新型コロナウイルスの影響で多くの方々や企業・団体が生活面・経済面とも非常に厳しい状況にあるなか、大変心苦しいのですが、本年も何とぞよろしくお力添えのほどお願い申し上げます。 末筆ながら、皆さまのご健勝とご活躍を心よりご祈念申し上げます。



濱田 徹 誠心会理事長挨拶

月日の経つのは早いもので、しらかば子どもの家、しらかばベビーホーム設立から10年目を迎えました。この間、後援会「益子健一会長」の皆様、はじめ各種団体の皆様、各個人の皆様方の心温まるご援助のおかげで、本来なら施設だけでは予算的に難しい子ども達への援助、「高校卒業の為の学習塾、高校卒業後就職に有利な運転免許証の取得」等々のご支援を受け、2016年3月に施設開設後、初めての卒園生が社会へ飛び立ちました。その後、毎年1～2名の卒園生があり、本年度の卒園生1名を含め、男子5名、女子3名の合計8名の卒園生が飛び立ちました。

この卒園生の中には神奈川県立保健福祉大学に入学し頑張っている卒園生もあり後援会としても生活費の援助をしてくださり、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

また、本年度の卒園生は統合され普通科と農業科を併置しスタートした、神奈川県立三浦初声高等学校の前身の平塚農業高校初声分校に平成29年4月に入学しました。

その後、学校より社会で活躍する人材の育成を目指して行くために「委託学習」の依頼がありました。委託学習とは生徒が産業現場において実際の仕事を体験し学校では学べない勤労の大切さや厳しさを学ぶために、実施するものです。この依頼に対し3か所の畑を所有していた、しらかばこども園の浜田和幸園長が気持ち良く畑の使用を許可して下さり実習が始まりました。実習は畑の管理を任されていた鈴木宏之さんと西村昇君が担当し平成30年10月25日より令和2年1月23日まで、1日5時間以上の実習を40日間行ってくださり、本人は無事卒業し、横浜の中華街の中では有名な料理店に就職が決まり、しらかば子どもの家を旅立っていきました。鈴木さん、西村君には心からお礼を申し上げます。

2019年度後援会費入金状況（年度末）

	会員数	入金口数	金額
法人	57社	102.5	1,025,000
個人	97人	367.5	735,000
	合計		1,760,000

後援会は例年通り行事補助、学習支援、卒園支援などを行いました。今年度も進学を希望する高校生の塾費用支援などのほか、大学へ進学した卒園者に奨学金支援をしてまいります。今後とも皆様のあたたかいご支援をお願いします。

2019年12月18日以降に会費(寄付金)をいただいた皆様（順不同、敬称略）

16ミリ試写室、(株)新都市企画、飯野夏子、横須賀紘子、大泉俊弘、川口泰弘、星宏輝、高橋孝司、岡川直、岡川直美

今年度、広報の担当をさせていただくことになりました。しらかば子どもの家くすのき寮担当の鈴木翔乃介です。子ども達の元気な姿や楽しんでいる姿をたくさん発信できるよう努めてまいります。1年間よろしくお願い致します。

世の中は新型コロナウイルスの問題で息苦しい日々になっています。それでも、子どもたちは毎日元気に過ごし、私たち、職員たちは手洗いうがいを日頃から徹底し、なるべく人混みは避けるようしています。

子どもたちに感染させないように、元気で子どもたちと過ごせることが第一です。

私たち職員が、明るく楽しく過ごすことは子どもに健やかに日々を過ごしてもらうためには一番大切なことだと思います。子どもたちの前には気分を切り替えて明るく安心してもらえるように頑張っていると、子どもたちも、私たち職員の気持ちを察するのとても素敵な笑顔を返してくれます。